



2025年度教会標語「すべての人と共に平和を、また聖なる生活を追い求めなさい。」

ヘブライ人への手紙 12章 14a 節

2025年度は、「教会設立記念50周年教会宣言文」の(2)にあたる「常に祈り、奉仕を志します」を主題とし、ヘブライ人への手紙12章14a節を教会標語とします。

このヘブライ人への手紙には、教会が迫害の危機に襲われている中で、先立ちゆくキリストを見つめつつ、望みと忍耐をもって信仰によって前進するように勧めがなされています。この手紙は、紀元80~90年くらいの時期に記されたもので、ローマ帝国による迫害の危機に襲われていたことが背景にあります。それゆえに多くの人たちが背教し、信仰における忍耐と訓練の必要性が語られています。

12章12~14節では、特にキリスト者たちが信仰生活において追求すべき4つのことが語られています。12節の最初には「だから…」という言葉で始まっています。

①この12節以下では、迫害という厳しい状況下であっても、試練によってのちには鍛え上げられ豊かな実を結ぶことができるのだから、「萎えた手と衰えた膝をまっすぐにしなさい」(12節)と勧められています。心を新たにされて、萎えた手と衰えた膝をまっすぐにしてみなさいと言われるのです。もうだめだとあきらめないで力を入れて伸ばし、動かしてみなさいというのです。「手」と「膝」というのは、主の業に仕えるために手を動かし、立って歩くことを意味していると言えます。

わたしたちは迫害下ではありませんが、教会の今後を考えると、すでに厳しい状況下におかれていると感じます。そのような中で、聖書は「萎えた手と衰えた膝をまっすぐにしなさい」(12節)と命じているのです。

②二つ目の勧めは「まっすぐな道を造りなさい」(13節)です。

キリストは「私は道であり、真理であり、命である。私を通らなければ、誰も父のもとに行くことができない。」(ヨハネによる福音書14章6節)とされました。キリストを見つめて生きることにより、道なき場所にもまっすぐな道を切り開いていくことができるのです。

③三つ目と四つめの勧めは「すべての人と共に平和を、また聖なる生活を追い求めなさい。」(14節)です。

これが2025年度の教会標語です。わたしたちも信仰によって、すべての人と平和に生きる訓練が必要です。好きな人とは平和に過ごせても、嫌いな人やがてな人と平和を保つことは難しいことです。それだからこそ聖霊の助けをいただく必要があるのです。そのために聖なる生活を追い求めなさいと勧められています。祈りとみ言葉によって、また礼拝を通して聖なる生活を追い求め、神によって常に清めていただくのです。聖なる生活は、祈りと奉仕によって整えられていきます。14節後半には「聖なる生活を抜きにして、誰も主を見ることはできません」とあります。聖なる生活を通して、主に触れることができます。

主の働きを見た者の証言には力があります。主イエスも「平和を造る人々は、幸いである／その人たちは神の子と呼ばれる。」(マタイによる福音書5章9節)とされましたが、わたしたちもキリストによって平和を造る者へと変えられていくように、2025年度は聖なる生活を主に求めて生きたいと思います。